

平成 27 年度産業技術高度化振興会
理事会・総会議事録

開催日 平成 27 年 7 月 9 日(木) 14:00~15:30
開催場所 東北職業能力開発大学校青森校 第二会議室
出席者 別添名簿のとおり
司 会 東北職業能力開発大学校青森校 一戸統括マネージャー

1 開 会

2 会長挨拶 五所川原商工会議所 山崎会頭

東北職業能力開発大学校青森校の産業技術高度化振興会ご参集いただき、誠にありがとうございます。地域産業会の連携というご趣旨の基に実施いたしますのでよろしく願いいたします。年一度の理事会・総会で事業報告及び予算報告をするだけでなく、参加していただいた皆様から忌憚のない意見をご頂戴したいと思っておりますので、よろしく願い申し上げます。

3 校長挨拶 東北職業能力開発大学校青森校 瀧原校長

本日は、お忙しい中ご参集いただき、誠にありがとうございます。振興会の役員、会員の皆様には私ども青森校に対しまして日頃よりご支援、ご協力を賜り心より感謝申し上げます。

おかげ様をもちまして、学生の就職率も 5 年連続 100%を達成し、また在職者訓練等の事業主様向けの支援業務についても一定の成果を上げることができました。これもひとえにご支援の賜物と感じております。引き続き、工科系大学校として信頼いただける施設運営を行ってまいりますので、よろしく願いいたします。

さて、振興会も平成 6 年の発足から 21 年目を迎えておりますが、近年の環境変化においては地域における人口減少克服・地域創生という構造的な課題に取り組むため「まち・ひと・しごと創生産業戦略」がとりまとめられ、閣議決定されています。この中で高等教育機関においては「地域とのつながりを深め、地域産業を担う人材育成など地方課題の解決に貢献する取り組みを推進する必要があります」としています。地域の活性化に資する人材を育て、地元に着定することで、地方創生の観点からも重要な取り組みの一つであると言え、青森校が育成している高度な技能・技術を持つ人材の育成を使命とする青森校の意義、役割がここにあるものと確信しています。グローバルな視点を持たせ、地域、ローカルで活躍できる「グローバル」な人材の育成に取り組むとともに、ものづくり産業における女性技術者、ものづくり女子、ものづくり小町の育成にも取り組みたいとも考えております。

今後とも、振興会の皆様との連携はもちろんのこと、県内高等学校との高大連携や地域産業の振興に鋭意努力されている方々との連携や支援に取り組みながら、利用しやすい、相談しやすい大学校づくりに邁進してまいります。この後、平成26年度の事業報告、平成27年度の事業計画についてご説明申し上げますが、会員の皆様の更なる情報交換、意見交換等の場も模索しながら地域の技術振興の役割を担えるようお誓い申し上げまして、ご挨拶とさせていただきます。

4 議長選出

振興会規約第8条により、山崎会頭が選出された。

5 議 事

(1) 議 案

① 第1号議案 平成26年度事業報告について

東北職業能力開発大学校青森校、清水能力開発部長から資料No.1・第1号議案「平成26年度産業技術高度化振興会事業報告」等に沿って報告があった。また、青森校では学生の社会性や人間力の向上を図った人材育成だけでなく、離職者訓練や在職者訓練、共同研究等を実施し企業支援も実施していることが併せて報告された。

主な意見は次のとおり。

- ・津軽地域の活性化に結び付くようなものづくりを、各企業と青森校の指導員が連携して実施していただきたい。
- ・振興会会員各社との情報交換の場として懇親会等を開催してほしい。
- ・溶接工が不足しているため、技能者を募集している。青森校で以前実施していたテクニカルメタルワーク科の修了生で適任者がいれば紹介していただきたい。

(議長) 第1号議案について、承認を確認した。

② 第2号議案 平成26年度決算について

東北職業能力開発大学校青森校、藤田調査役から資料No.1・第2号議案「平成26年度産業技術高度化振興会決算書」に沿って報告があった。

(議長) 第2号議案について、承認を確認した。

③ 監査報告

資料No.1・「監査報告書」に基づき山菜加工サンフーズ平山代表(監事)より審査を実施した結果、その内容はいずれも適正である旨報告があった。

(議長) 監査報告について、承認を確認した。

④第3号議案 平成27年度事業計画（案）について

東北職業能力開発大学校青森校、清水能力開発部長から資料No.1・第3号議案「平成27年度事業計画（案）」に沿って説明をした。昨年度と同様、青森校では学生の社会性や人間力の向上を図った人材育成だけでなく、在職者訓練や共同研究等を実施し企業支援も実施していくという説明をした。

（議長）第3号議案について、承認を確認した。

⑤第4号議案 平成27年度予算（案）について

東北職業能力開発大学校青森校、藤田調査役から資料No.1・第4号議案「平成27年度産業技術高度化振興会予算（案）」に沿って説明をした。

（議長）第4号議案について、承認を確認した。

(2)意見交換会「東北職業能力開発大学校青森校に期待すること」について

以下の項目について意見交換を行った。

①グローバルな視点を持ったローカルで活躍する「グローカル」な人材について、どのようなイメージを持っているか。また、今後青森校に期待することはなにか。

- ・青森校には飯詰駅の清掃やペレットストーブの設置をしていただいたことや、相談等を行うと親身になって解決していただけたので感謝している。中里高校との高大連携としておやきの開発を手伝っていただき、今では中里の名物にもなっている。津軽地域を活性化していただいたことを感謝している。これからも頑張っていたきたい。

- ・海外企業との関わり合いが増えているため、技術力だけでなくコミュニケーション能力の1つである英語（特に英会話）ができる人材を欲している。青森校でも英語の教育に力を入れてほしい。

→青森校では機械等の作業マニュアルを読むことができるよう読み書き等を中心に英語の教育を行っている。頂いたご意見を参考に語学にも力を入れるよう考えさせていただきたい。

②資料No.3「東北職業能力開発大学校パンフレット」より、青森校では女子学生の受け入れを増やしているが、現状ものづくりに関心を持ってくれる女子学生は少ない。そこで各企業様がものづくりの技術を持った女性が現場でどのような理由で重宝されているのか。また、どのような女性の特性が現場で必要とされているのか。

- ・当社では現在女性社員は少ないが、非常に素直で且つ勤勉であるため期待し

ている。また営業などの女性目線で活躍しているため重宝している。今後様々な分野で女性が活躍することを期待している。

- ・当社では事務系の職種が多いが、設計等の電気の仕事を担当している女性もいる。男性社員と比較して体力的な問題はあるが、今後様々な分野で活躍できる可能性を秘めていると感じている。

6 その他

事業者向け各種支援制度の情報提供をした。

(1)青森支部高齢・障害者業務課 榊課長

「平成 27 年度高年齢者雇用安定助成金のご案内」に沿って説明があった。

(2)青森障害者職業センター 高橋主任障害者職業カウンセラー

「企業の方へのご案内 障害者雇用をすすめるために」に沿って説明があった。

7 閉 会 東北職業能力開発大学校青森校 瀧原校長

以上をもちまして 平成 27 年度東北職業能力開発大学校青森校産業技術高度化振興会理事会・総会を終了したいと思います。

先ほど頂戴いたしましたご意見を参考に来年度も良い報告ができるよう活動させていただきますので、よろしく願いいたします。当校は人材育成をメインに活動しておりますが、ご紹介した高齢・障害者雇用の事業も機構の事業として展開しておりますので、併せてお願いいたします。

当校はこれからも「信用・信頼・安心」「利用しやすい施設・相談しやすい施設」をキーワードに活動してまいります。本日はありがとうございました。

以上